

○ 函館競輪開催業務等包括委託受託候補事業者の選定結果について

[委託業務名]

函館競輪開催業務等包括委託業務

[委託期間]

令和3年4月1日～令和8年3月31日

[募集および選定経過]

- | | | |
|------------------------|-----------------|----|
| ・募集要項配布 | 令和2年7月 6日～7月15日 | |
| ・参加申請書提出 | 令和2年7月 9日～7月15日 | 2社 |
| ・現地説明会 | 令和2年7月17日 | 2社 |
| ・質問受付期間 | 令和2年7月20日～7月31日 | |
| ・企画提案書受付 | 令和2年8月20日～8月26日 | 2社 |
| ・審査委員会でのプレゼンテーションおよび審査 | 令和2年9月18日 | 2社 |

[選定審査]

- ・選定方法 公募型プロポーザル方式を採用し、提案された企画提案書を審査委員会において選考評価基準表により評価
- ・審査委員 5名
 - 委員長 今 井 敏 博（函館大学教授）
 - 委 員 松 川 明 弘（公益財団法人JKA執行理事）
 - 委 員 入 江 正 夫（公益社団法人全国競輪施行者協議会専務理事）
 - 委 員 千 葉 利 隆（函館市競輪運営協議会副会長）
 - 委 員 乳 井 英 雄（函館大谷短期大学教授）
- ・審査委員会
 - 令和2年6月26日 委員長選任，募集要項説明等
 - 令和2年9月18日 プレゼンテーションおよび審査

[選定結果]

函館競輪開催業務等包括委託受託候補事業者

東京都品川区南大井六丁目２０番１４号

トータリゼータエンジニアリング株式会社 代表取締役 中三川 和則

審査項目	配点	評価	
		トータリゼータ エンジニアリング(株)	日本トーター(株)
1 提案団体	80	74	
2 運営計画	100	84	
3 業務遂行方法	80	67	
4 雇用	50	42	
5 危機管理体制	20	16	
6 個人情報の保護	20	18	
7 積算額	100	92	
8 その他	50	42	
合 計	500	435	433

[審査講評]

函館競輪開催業務等包括委託については、函館競輪の経営安定化と事業活性化のため、公正かつ安全な開催運営を確保しつつ、業務の効率化による経費削減や、民間のノウハウを活用した売上向上策、ファンサービス向上策など効果的な改善工夫が講じられているか等、総合的な観点で審査を行った。

現受託者である日本トーター（株）の参加のみであった第２期、第３期の募集と異なり、第４期となる今回は、競輪場の包括受託実績を有する２社からの参加申請があり、各社が独自の視点で函館競輪場の強み・弱み等の分析を行い、具体的な提案を行っていたため、様々な点で２社の提案を比較することができ、非常に有意義な審査となった。

また、提案のあった２社とも、財務状況は良好であり、競輪開催業務については複数の実績を有していることから、着実な業務運営が期待できるという点では共通していたところである。

トータリゼータエンジニアリング（株）からは、募集条件として事前に議決された本場開催時の受託率の上限３．９８％を下回る３．９７％での提案がなされたほか、今回、初めて条件に付した函館市自転車競走事業特別会計の単年度収益保証についても、日本トーター(株)による従前と同様の２億円に対し、各年約２億５千万円から２億６千万円の収益が確保できる提案がなされており、事業の安定化への貢献について大いに評価できる。

また、現在低迷している函館競輪場およびサテライト松風における併売数の拡大やA Iによる予想情報の提供など、より具体的な方策が提案されており、今後の売上向上に期待が持てる内容である。

その他、地域貢献や競輪場遊休スペースの活用などの新しい取り組みに関する提案もなされ、これまで以上にファンの利便性やファンサービス向上が図られることが期待される。

以上のような点を踏まえ、評価基準に基づき審査した結果、トータリゼータエンジニアリング(株)を函館競輪開催業務等包括委託受託候補事業者として選定したものである。

なお、今後契約締結に向けて詳細協議を行うにあたり、函館競輪場およびサテライト松風における売上向上に向けた施策を積極的に取り組むとともに、業務の効率化による経費削減など、双方十分な協議、調整のうえ、函館競輪場のさらなる活性に努めるよう求める。